

園だより

2021年6月号
2021年6月1日発行

チルドレンズファースト

緊急事態宣言が再延長されて、長引くウィズコロナ生活に疲れも感じてしまうこの頃ですが、保育園に通う子ども達はいたってすくすくとパワフルに今を生きています！

この世界的なパンデミックにより、少子化がより一層進み、子どもの貧困や虐待のニュースが後を絶たず、日本の未来がとても心配なひとりです。10年後・20年後の日本はどんな社会になっていて、黎明を巣立つ子ども達はどんな時代を生きていくのだろうか。

そんな中、政府はあらたに「子ども支援政策を統括する新省庁」の設立に向けて、動いていることをご存知ですか？ チルドレンズファーストを掛け声に、今までの厚労省や文科省、内閣府に分かれていた子ども子育て行政を、まったく新しい“子どもの省庁”を創設して、妊娠・出産から子育て、保育・教育にいたる「子ども子育て政策」を一括して取り組んでいこうという方向のようなのです。「すべての子どもが安全に育ち、健康的に能力を発揮できる社会」の実現に、この新省庁がどう寄与していくのか。まずは、子どものための予算と人員が増えることを期待したいです。

このコロナ禍の中で、私も二人目の孫が生まれ、命の誕生の幸せをかみしめています。子どもを産み育てることが個人の事情ではなく、日本の未来を支える“社会貢献なのだ”という認識を、社会全体が持ってくれたらいいですね。

園長 三幣典子

『子ども達を私のもとに来させなさい。妨げてはならない。

神の国はこのような者たちのものである』(ルカによる福音書18章16)

